

(様式)

令和5年度 文芸部の指導方針等について

令和5年4月28日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	村田 優子			
副顧問	川崎 直子			
副顧問				

2 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
何事にも主体的に取り組み、日々努力を重ね、日々の活動から、仲間と切磋琢磨することの大切さや、豊かな人間性、協調性、感謝する気持ちを身につける。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標
関東大会出場を目指して、日々の創作活動に取り組む。

3 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫
活動日は原則週4日、1日1時間半を基本とし、モチベーションを高く持ち、短時間で集中して創作する。大会作品制作において、作品の批評会を通して、客観性を身につけ、作品の質を高める。
- (2) 練習や試合等の計画
大会に向けて、計画を立て、部員とともに作成に励む。特に、文芸部誌の内容を部員で吟味し、新しい企画などを発案し、計画的に発注まで行えるようにする。また、大会で、他校との交流に積極的に参加したり、他校の文芸部誌から学んだりして、日々の研鑽に務める。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成
挨拶の励行、正しい言葉遣い、時間厳守、自ら進んで進んでリーダーシップがとれ、他の生徒の模範となるようにする。
- (4) 生徒相互の人間関係
チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- (5) 学習と部活動
学習と部活動の両立を定着させるため、課題の未提出がないかなどを把握したり、定期考査前などは、作品作りに余裕のある時は、部員との学習時間も確保したりすることで、自学学習を定着させる。

4 指導内容・方法

(1) 体罰・暴言等のない指導

生徒の活動意思を尊重する。論理的に指導・助言する。
顧問、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。

(2) 生徒間の暴力禁止

日々の終わりのミーティングや定期的な作品創りにおける発案・企画・作成において意思疎通を図り、日頃から部員同士のコミュニケーションが円滑に進むよう徹底して指導する。

(3) 外部指導員の活用

なし

(4) 事故防止・安全配慮

生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	部誌発行（新入生歓迎号）の作成 部活動紹介 新入生部員の勧誘と指導 高文連文芸部門への参加に向けて作品創作
	5	高文連文芸部門への参加に向けて作品創作 大会に向けて小説作成練習
	6	高文連文芸部門大会参加（全員） 部誌発行
	7	文化祭に向けての準備 全国文芸コンクール、高文連文芸部門への参加に向けて作品創作
	8	部誌発行（特別号1） 全国文芸コンクール、高文連文芸部門への参加に向けて作品創作 その他、各種大会にも参加 文化祭準備
2 学期	9	高文連文芸部門への参加に向けて作品創作 部誌発行（特別号2）・小説号発行 文化祭準備
	10	部誌発行
	11	高文連文芸部門大会参加（全員） 文芸教室参加
	12	部誌発行（クリスマス号）

3 学期	1	大会に向けて小説作成練習 文芸教室参加
	2	部誌発行（バレンタイン号） 高文連文芸部門への参加に向けて作品創作 文芸教室参加
	3	高文連文芸部門への参加に向けて作品創作 新入生歓迎号・新入生部活動紹介の準備

※ 合宿や県外遠征などの宿泊を伴う活動については、必ず記載する。